

平成30年度 木犀会「高齢福祉サービス部門運営報告書」

「高齢者が人生の最後まで住み慣れた地域で自分らしい暮らしを続ける」という地域包括ケアの視点を、それぞれの施設・事業所の機能・特性・専門性を最大限に發揮し、“よりよいひとときと一緒に創る”という発想を大切に、利用者本位の支援に努めた。あわせて、職員ひとり一人が経営を意識できる職員集団作りに視点をおいた取り組みを進めた。

【1】経営理念(法人)の実践

- 1 利用者が住み慣れた場所で生き活きと暮らしを継続するための積極的なサービス・支援の充実。〔自立(自律)〕
- 2 利用者が豊かさを実感できるような、専門的視点に裏打ちされた質の高いサービス・支援の推進。〔豊かさ〕
- 3 施設・事業所の利用(入居)をとおして、生きがいを持って生活できるようなサービス・支援の展開。〔生きがい〕

【2】基本方針(法人)の実践

- 1 個々のサービス・支援の持つ意味(エビデンス)を理解した質の高い〔専門的で良質な福祉サービスの提供〕サービス・支援の実践。
- 2 変化するニーズの把握と柔軟な発想を取り入れた取り組みの実践。〔地域福祉の積極的な推進〕
- 3 利用者の状況や事業の特性に応じた研修による職員育成。〔人間性豊かな有能な福祉人材の育成〕
  - ①施設・事業所の現状に応じた内部研修の開催による個々の職員の育成。
  - ②積極的な外部研修への派遣とフィードバック。

【3】重点目標への取組等(実践)

- 1 法人
  - (1)共通項目 「共生型サービスについての取組み」  
各々の事業種別・利用者及び地域性に配慮した取り組みの実践又は検討を行った。
  - (2)高齢部門 「医療との連携の強化」  
利用者の重度化及び医的ケアの必要性に応じた取り組みを行った。
- 2 施設・事業所
  - (1)施設サービス事業 (ケアハウス悠・特養はぎの郷・特養千の杜)
    - ①ケアハウス悠 [平均入居者数 47.80人/月]
      - 精神・身体等の障害の有無に囚われない受入れによる、地域で暮らすための拠点づくりを進めた。
      - 医療機関との連携強化による、疾病予防と早期発見に努めた。
      - 利用者の満足するサービスを継続的に提供するため、安定した収入の確保に努めた。
    - ②特別養護老人ホームはぎの郷 [平均入居者数 48.67人/月]
      - 嘱託医師との連携による看取り体制の強化を進めた。
      - 歯科医師等の協力により、口腔衛生の充実と、それによる肺炎予防等の健康維持に努めた。(加算算定)
      - 痰の吸引等の実践のための指導職員(看護師)の研修等を行い、あわせて職員の育成を進めた。
      - 重介護等(障害重複を含む)の受入れを積極的に進めた。
      - OJTを活用した職員の育成を計画的に進め、あわせて職員の定着を図った。
    - ③特別養護老人ホーム千の杜 [平均入居者数 43.49人/月]
      - 嘱託医師との連携による医療ケアの充実を進めた。
      - 障害事業所との連携による、障害者の就労の場の提供を行った。
      - 職員が活発で元気ある施設を目指し、職員個々との面談等コミュニケーションの充実を図った。
      - 特養ユニットの再開に向けた体制整備を進めた。
  - (2)居宅サービス事業 (訪問介護ゆう・はぎの郷短期・千の杜短期・はぎの郷デイ・千の杜デイ)
    - ①訪問介護ゆう [平均利用者数 高齢21.03人/月 障害5.56人/月]
      - 高齢・障害者を対象とした事業を利点に、更に実践に生かした運営に取り組んだ。
      - 利用者の変化に即応したタイムリーな情報交換を実践することで、利用者の在宅生活支援に努めた。
    - ②はぎの郷短期入所 [平均利用者数 9.34人/月]
      - 共生サービスの導入を模索するも、現実化できなかった。(指定条件等による)
      - 重介護、障害重複等利用者の受入れを積極的に進めた。
      - 口腔ケアの充実による利用者の健康維持と、疾病予防による継続的利用の促進に取り組んだ。
      - レスパイト機能の強化による、柔軟な利用への対応を進めた。

③千の杜短期入所

- 介護人材不足による閉鎖解消へ向けた取り組みを進めるも、再開できなかった。(休止中)

(3)地域密着型サービス事業

- ①グループホーム花水木 [平均入居者数 17.66人/月]
  - 看護師の配置による緊急時及び看取り等の体制整備により、ケアの充実を図った。
  - 利用者の重度化及び権利擁護・虐待等に対応した研修等により、個々の職員の意識醸成を図った。
  - 利用者の身体機能の維持や口腔ケアの充実を進め、新たな加算に対応した。

②グループホーム花水木岩瀬館

- [平均入居者数 17.65人/月]
- 嘱託医等との連携による看取り体制の充実を進めた。
- 利用者の口腔ケアの充実を進め、新たな加算対応を進めた。
- 地域の認知症理解促進に向けた取り組みの継続を進めた。(認知症センター等)

③小規模多機能型居宅介護花の郷

- [平均利用者数 28.58人/月]
- 隣接の障害者福祉サービスさくらとの交換実習を通して、共生型サービスへの意識醸成を図った。
- 地域の医療機関・訪問看護と連携及び研修をとおして、医療依存度の高い利用者の受け入れを進めた。

④小規模多機能型居宅介護ゆりのき

- [平均利用者数 23.17人/月]
- 隣接の障害者福祉サービスひまわり館との日常的交流をとおして、共生型サービスへの意識醸成を図った。
- 地域の困難ケース等、他事業所の敬遠する利用者への支援に積極的に取り組んだ。

⑤はぎの郷デイサービスセンター

- [平均利用者数 12.63人/日]
- 共生サービスの導入を模索するも、現実化できなかった。(指定条件等による)
- 医的ケア・レスパイト利用等、利用者等のニーズ等に即応した柔軟なサービスを推進した。

⑥千の杜デイサービスセンター

- [平均利用者数 11.40人/日]
- 共生サービスの導入を模索するも、現実化できなかった。(指定条件等による)
- 地域から信頼される事業所づくりを進めた。

(4)地域密着型サービス事業

- ①居宅介護支援事業所はぎの郷 [平均登録者数 37.25人/月]
  - 介護保険改正に合わせた、医療との連携強化を進めることで、利用者の在宅支援を進めた。

①ケアプランセンター千の杜

- [平均登録者数 79.25人/月]
- 複数ケアマネ体制による、効果的支援の継続を進めた。

①くらしサポートセンター

- [平均登録者数 36.10人/月]
- 地域の専門会議等への参画及び医療等との連携により、困難ケース等の積極的支援を進めた。

【4】事業運営収入(介護保険事業収益)

[単位:千円]

高齢福祉サ部門総額	[単位:千円]	※ケアハウス悠	訪問介護ゆう	花水木	花水木岩瀬館	花の郷	ゆりのき	くらしサポートセンター
1,004,344		74,892	24,207	83,677	80,533	77,340	64,885	4,291
		99,100		164,210		142,225		4,291

※ケアハウス悠(老人福祉事業収益)

はぎの郷				千の杜			
特養	短期	デイ	居宅	特養	短期	デイ	居宅
241,896	45,347	39,993	4,580	210,423	3,460	36,059	12,761
331,815				262,703			

[単位:千円]

## 平成30年度 木犀会「障害福祉サービス部門運営報告書」

障害者を取り巻く環境が制度の変更と共に大きく変化している中で、現在障害者は、自立をしていくためにどのようなサービスを利用していくかが問われるようになってきた。私たちは「選ばれるサービスは何か、何を必要とされているのか」を見極め、これに対応すべく事業所の形態を柔軟に変化させながら、「利用者に寄り添いながら、利用者の力を引き出す支援」を心がけて、支援力の向上と安定した経営基盤の構築を図る。

### 【1】経営理念(法人)の実践

- 1 障がいのある方などが、社会的・経済的また精神的にも自立した生活をおくることを実践する。 [自立(自律)]
- 2 様々な地域生活(活動)を実感してもらうことによって、自己を肯定した自尊感情や自己達成感の増強を図る。 [豊かさ]
- 3 当法人のサービスを利用することによって、生きていく張り合いを見つけ、活力につなげる支援を実践する。 [生きがい]

### 【2】基本方針(法人)の実践

- 1 各種障害に応じた対応と支援が出来る体制づくりを目指す。 [専門的で良質な福祉サービスの提供]
- 2 変化するニーズの把握と柔軟な発想を取り入れた取り組みの実践。 [地域福祉の積極的な推進]
- 3 実践による体験を通じて蓄積された技能により、有能な人材の育成を目指す。 [人間性豊かな有能な福祉人材の育成]

### 【3】重点目標への取組等(実践)

#### 1 法人

- (1) 共通項目 「共生型サービスについての取り組み」  
各々の事業種別・利用者及び地域性に配慮した取り組みの実践又は検討を行った。
- (2) 障害部門 「特徴を活かしたサービスの提供の実践と訴求価値を図る取組」  
各々の事業所が事業種別ごとの内容・見直しとサービスの強化に取り組んだ。

#### 2 施設・事業所別

##### (1) 相談支援事業

- ① くらしサポートセンター [平均利用者数 34.00人/月]  
○各専門分野関係の部会や会議に参加し、他職種や関係機関との連携が図れた。

##### (2) 通所事業所

- ① もちの木作業所 [平均通所利用者数 33.40人/月]  
○事業種別ごとの内容見直しとサービス強化をした。:就労移行支援事業を8月に廃止。  
○生活介護事業の定員を10名と改め、より安定した利用者のサービス体制を整えることが出来た。  
○安全対策・環境整備の向上:コスト削減を実施した為、身近にできる安全対策を実施した。
- ② まなーるもちの木 [平均通所利用者数 42.15人/月]  
○個々の障害特性を捉えた生活支援の強化と社会資源を活用した社会体験の継続が図られた。  
○ケース検討会議を毎月行うことで利用者の実態把握し、統一した支援に繋げることが出来た。
- ③ スペース・ドリーム [平均通所利用者数 49.44人/月]  
○生活介護・就労継続B型共に、稼働率100%以上の維持が達成することが出来た。  
○就労継続B型事業の工賃平均2万円を目指すことに取り組み、目標以上に達成することが出来た。  
○利用者の安心安全に努め、大きな怪我や事故もなく、安全活動を進められた。
- ④ スペース・ゆい [平均通所利用者数 41.29人/月]  
○選ばれる事業所として作業と余暇の充実を図り、レストパトケアの取り組みを図った。  
○生活介護サービスにおいて、障害の特性を考慮しグループ活動を実施した
- ⑤ ひまわり館 [平均通所利用者数 48.34人/月]  
○心身の充実及び、通いたくなる事業所の体制を目指した取り組みを図った。  
○計画に沿った収入売上の達成に取り組んだ結果、計画以上の成果が出せた。

### ⑥ ケアステーションコナン [平均通所利用者数 36.30人/月]

- 新規利用者様及び支援学校より、体験や実習生を率先して受入多様化できる体制の取り組みが出来た。
- 総合的な環境整備に力を入れてきたが、次年度も継続的に進めていきたい。

### ⑦ ケアステーションモリヤ [平均通所利用者数 30.19人/月]

- 多くの新規利用者を得たが、利用率により大きな増収とはならなかった。
- 有期限サービス終了後、別サービスへの以降が上手くいかなかった例が多く、利用終了者が多く発生した。

### ⑧ さくら [平均通所利用者数 35.36人/月]

- 利用者様の健康管理と、通所利用者の確保に取り組み実績に繋がった。
- 快適な空間の提供ための清掃、衛生、備品などの配置に取り組み、提供する事が出来た。

### ⑨ ケアステーションポプラ [平均通所利用者 20.09人/月]

- 新規利用者を得る為に広報活動も実施し、利用契約に繋がり利用率も上がってきた。
- 就労継続B型サービスにおいては、工賃アップに取り組み実績を上げることが出来た。

### (3) 入居事業所(ケアホーム)

- ① スマイル・クローバー [平均利用入居者数 92.28人/月]  
○幅広いニーズ、新規利用者の受け入れに関係機関と密な連携が図られた。  
○短期入所の増床と、よしざわホームの定員増の実現を図った。
- ④ かさま [平均利用入居者数 28, 28人/月]  
○健康管理の維持と満床の維持の取り組みを図った。  
○快適な空間の提供のための清掃、衛生、備品等の配置、工夫に取り組んだ。

### ② たじま [平均利用入居者数 8.72人/月]

- 利用者からの相談、気軽に話せる環境を作り、必要な支援に取り組んだ。

- ⑤ もりや [平均利用入居者数 13.34人/月]  
○利用者の入院等により安定した収入が得られなかった。  
○職員減少に伴う職員のモチベーション低下、意識低下等により、支援力の向上を図ることが困難であった。

### ③ かすみ [平均利用入居者数 9.58人/月]

- 季節行事や余暇活動を実施し、利用者様が落ち着いて暮らせる環境整備に取り組んだ。

### 【4】事業運営収入(障害福祉サービス等事業収益)

#### 1 事業収入 [通所部門]

(単位千円)

もちの木	まなーるもちの木	スペースドリーム	スペース・ゆい	ひまわり館
73,527	100,810	129,677	112,368	118,389

CSコナン	CSポプラ	CSモリヤ	さくら
82,234	40,091	65,378	81,137

#### 2 事業収入 [入居部門]

(単位千円)

スマイル・クローバー	かすみ	かさま	もりや	たじま
74,064	22,793	86,167	33,201	24,988

#### 3 相談事業収入 (単位千円)

くらしサポート
8,939

(単位千円)

通所部門 合計	803,612	入居部 門合計	241,212	相談部 門合計	8,939	総合計	1,053,763